

# 災害救援 ボランティアコーディネーター 養成講座

主催 : 知多市社会福祉協議会  
知多市佐布里・新知地区コミュニティ  
後援 : 知多市、日本赤十字社知多市地区  
対象 : 知多市佐布里・新知地区  
会場 : 知多市中部中学校

令和元年12月8日14日、15日、3日間シリーズ

防災士 : 西川 賢次  
防災士 : 河合 美恵子

## 養成講座研修項目

2

### 第1日目: 令和元年12月8日(日)

- 1、知多市の災害対応について、……………知多市防災危機管理課
- 2、災害救援ボランティアセンターの機能と運営
- 3、災害図上訓練 DIG 災害想定
- 4、各種様式と記入の仕方
- 5、ボランティアセンター演習、流れを体験

### 第2日目: 令和元年12月14日(土)

- 6、あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業(避難支援プラン)……………知多社協
- 7、避難所とは・レイアウト・運営・心のケア
- 8、災害ボランティアセンター立ち上げ演習(基本)

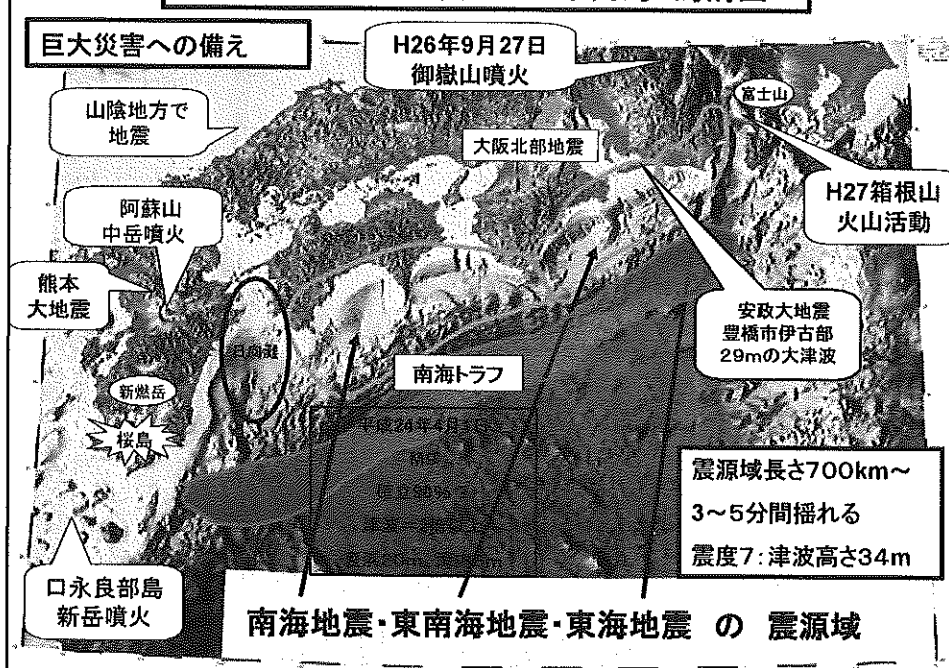
### 第3日目: 令和元年12月15日(日) ……野外研修

- 9、自主防災組織について……………知多市予防課
- 10、テント設営の確認・炊き出しの仕方(バッククッキング)
- 11、災害救援ボランティアセンター立ち上げ演習(総合)
- 12、ケーススタディ「地域防災と学校の連携」……………知多市中部中学校

## 災害とは？

- 調和的人間社会の崩壊……社会の防災力を上まわる自然の力が作用した時、人的、物的に、被害が起きる。
- ★ 外力(誘引:ハザード)が、社会の防災力(素因)を超えたときに発生し、複数の事象が連鎖的に起きることを巨大災害という。
- ★ 市民生活の安全・財産が失われること。(全ての資産価値の減少)
- ☆ 災害の分類
  - 自然災害 (人の力では制御できない)  
洪水、火山噴火、地震、津波、台風、竜巻、高潮、土砂崩れ、雪崩、など
  - 人為災害 (人の関わり起因するもの)  
大火災、爆発、列車事故、航空機事故、危険物事故、毒ガス、放射線事故、など
  - 伝染病の蔓延 (生物、菌、ウイルス、その他)
  - 飢餓 (異常気象……干ばつ、水害、その他、の原因で食料不足によるもの)
  - 紛争 (市民が巻き添えになっている戦争や紛争)

## 南海トラフ巨大地震：日本列島 海溝図



**防災とは？**

**災害対策基本法：**（伊勢湾台風を契機とし、昭和36年に制定）

**災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、及び災害の復旧を図ることをいう。（第2条第2号）**

- 自然の力を（災害の源を）人間の力では、制御できない！
  - ☆地球規模で起きる「天変地異はとめられない」・・・予知・予測の重要性
  - ☆防災・・・未然に防ぐ防災対策という人間社会の抵抗力
- 社会の防災力向上・・・被害抑止力の向上（災害への抵抗力の向上）
  - ☆被害を出さない為のハザード毎の備え
  - ☆被害軽減力の向上（災害からの回復力の向上）
  - ☆被害を最小限に留める為の一元的な備え

**災害時には普段やっていることしか出来ない＝防災訓練**

**災害救援ボランティア活動とは？**

**災害発生** → **災害は全てに及ぶ！**  
 （行政も被災する。）

災害は相手を選ばない

**☆公的な活動**  
 （警察、消防、自衛隊等の災害救護機関）

十分な物量、統率の取れた救援活動  
 一気に状況改善は困難

**☆ボランティアによる自発的活動**

人間的、人道的な災害救援活動  
 公的な活動を上回る  
 ボランティアの最大利点

**☆活動の目的**

被災者の痛みを理解し、  
 中立的な対応  
 ボランティアの自律、自己完結  
 秩序の維持

**被災者の自立支援**

ボランティアの自己目的達成の場では無い！

## ボランティアとは？…… 誰のこと！

7

★ 奉仕活動：町内会の依頼で、町のごみ拾い(役員だから？当番、お役だから？)  
……人の指図に従い活動を行う(住民としての義務感……?)。

★ ボランティア活動

：人に言われなくても、時間、能力、労力等を、無報酬で自発的に活動し、  
その行いに対して、報酬や報いを求めない、自己完結的な活動。

何をやっても、どれだけ  
やっても文句が出る。

★ 社会福祉協議会の活動

：職域のきまりに基づき、日頃から勉強し研修や訓練をつんで積極的に行動し、  
地域社会の規範を守り、大きな力で組織的な活動を展開し社会に貢献できる。

★ 災害ボランティア

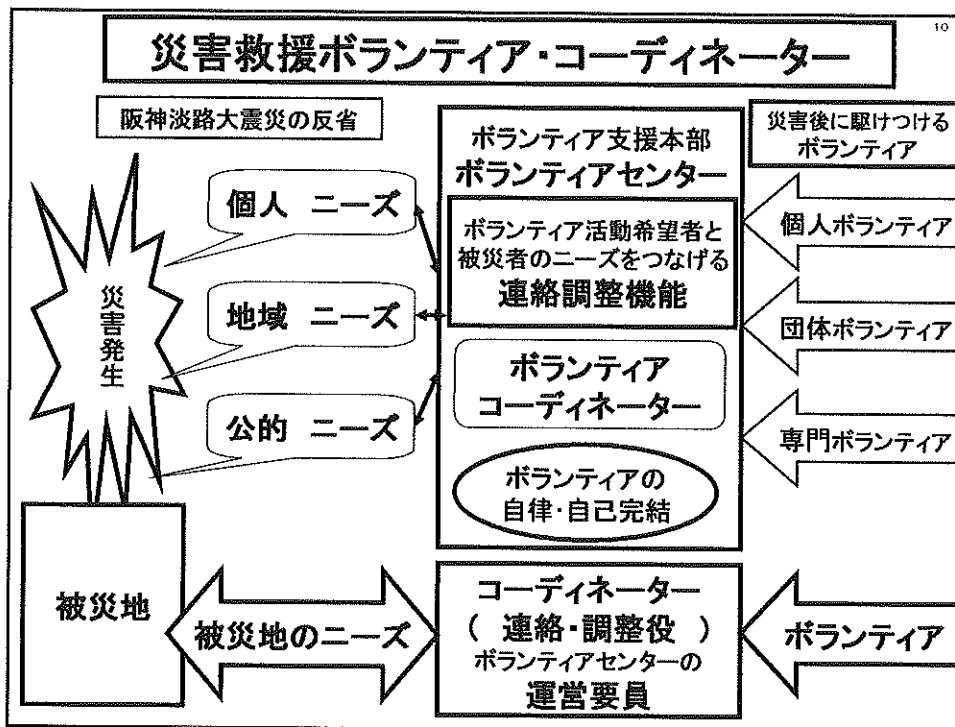
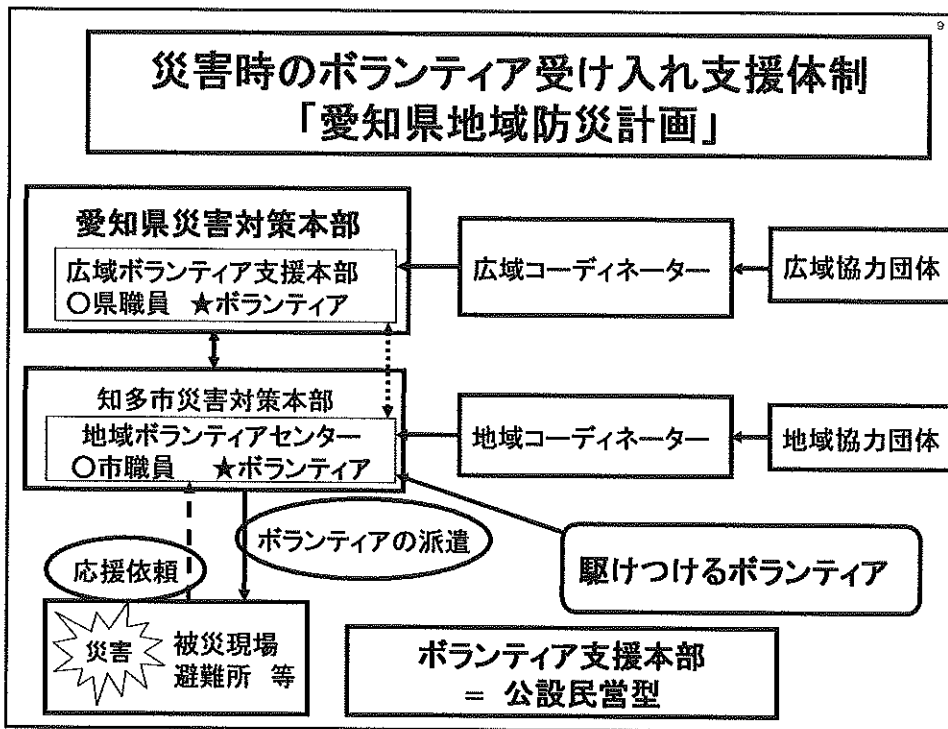
：災害発生を知って、何かしなくてはという熱い思いで駆けつける人々。  
(訓練、研修などの経験が無く、自分勝手に、組織的に動けない人が多い。)  
● ボランティアセンターでのコーディネートが必要不可欠。

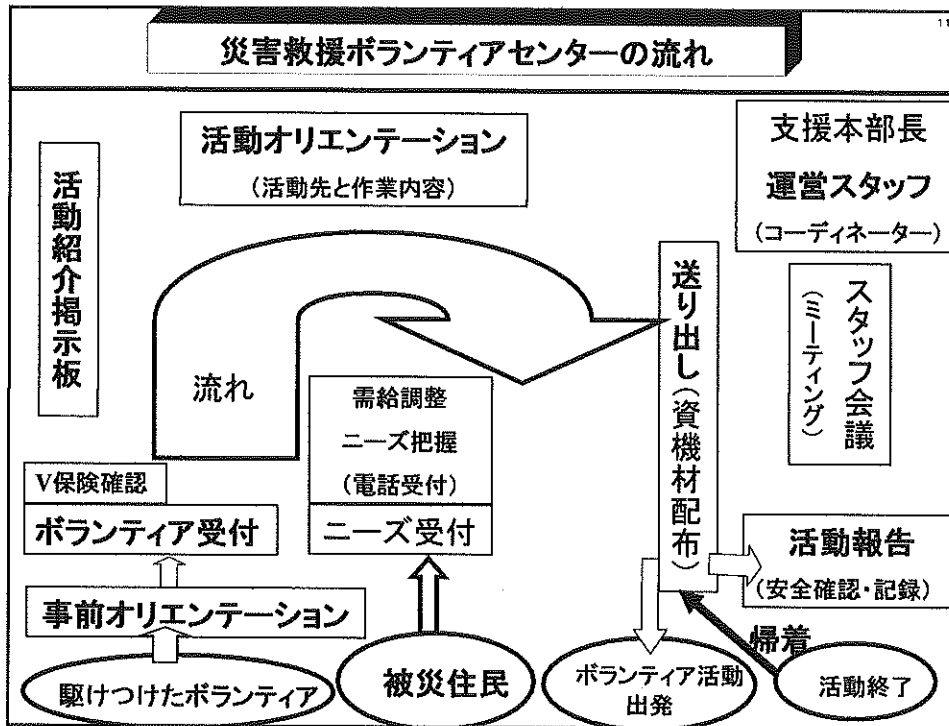
災害時のボランティア活動は被災者の自立支援活動であり、参加しているボランティアの、自己満足を得る場ではない。

## ボランティアの受け入れ

8

1. ボランティア活動の目的は、被災者の自立を支援すること。
2. 参集したボランティアの支援を行う。
  - 1) ボランティアの安全確保を重視する。
  - 2) 食費・交通費・宿泊費等は、原則としてボランティア本人の自己負担とする。
  - 3) 活動中の事故に対する補償として、活動参加者は必ず「ボランティア保険」に加入する。
  - 4) 活動オリエンテーションを必ず実施する。
  - 5) 活動後のボランティアへのケアを実施する。
3. 受け入れの仕組み
  - 1) 市町村の災害対策本部は、地域ボランティア支援本部を設置しボランティアの受け入れを行う。
  - 2) コーディネートは、ボランティアが行う。
  - 3) 行政もボランティアネットワークの、一構成員と位置付ける。
  - 4) 一般ボランティアの事前登録はしない。
  - 5) 活動内容はボランティアの自発性と、創造性を信頼する。





## DIG(ディグ)とは?.....災害図上訓練

13

※ DIGマニュアル作成委員会発行「災害図上訓練DIGマニュアル」序文よりの抜粋です。

災害図上訓練 DIGは、  
**Disaster**(災害)、**Imagination**(想像力)、**Game**(ゲーム)の頭文字を取って名付けられた、誰でも行うことのできる・誰もが参加できる 防災訓練です。

英語のdig[dig、動詞]には、「掘り返す、探求する、理解する」といった意味がありますが、私たちは「防災意識を掘り起こす」「地域を探求する」「災害を理解する」といった意味を込めて、この図上訓練のノウハウを”ディグ”と呼んでいます。

DIGとは、一言でいえば、大きな地図台を参加者全員で囲み、災害対策本部の運営のイメージトレーニングをしてみよう、というものです。みんなが一緒になって対応策を考えられる、真剣だけれどもゲーム感覚で気軽に行うことのできる、災害対応のためのトレーニングプログラムです。

※ 興味のある方は「DIGマニュアル作成委員会 事務局」にお問い合わせください。

連絡先: 〒417-0801 静岡県富士市大淵325

富士常葉大学 環境防災学部 小村研究室内 E-MAIL → [komura@fuji-tokoha-u.ac.jp](mailto:komura@fuji-tokoha-u.ac.jp)

## DIG (作戦地図) の目的は?

14

★文字や音声などによる様々な情報を、目に見える形にする。  
(視覚に訴え地図との対話で理解を深める。)

★現状を地図上に表して、被災状況を理解する。  
(地図上にあらわされた災害の全体を把握する。)

★ボランティア活動で何が求められ、何が必要かを把握する。  
(ボランティア活動の、安全確保と行政機関との連携)

ボランティア支援本部の活動を、どのように展開するのか、実行していく上で重要な作業となります。

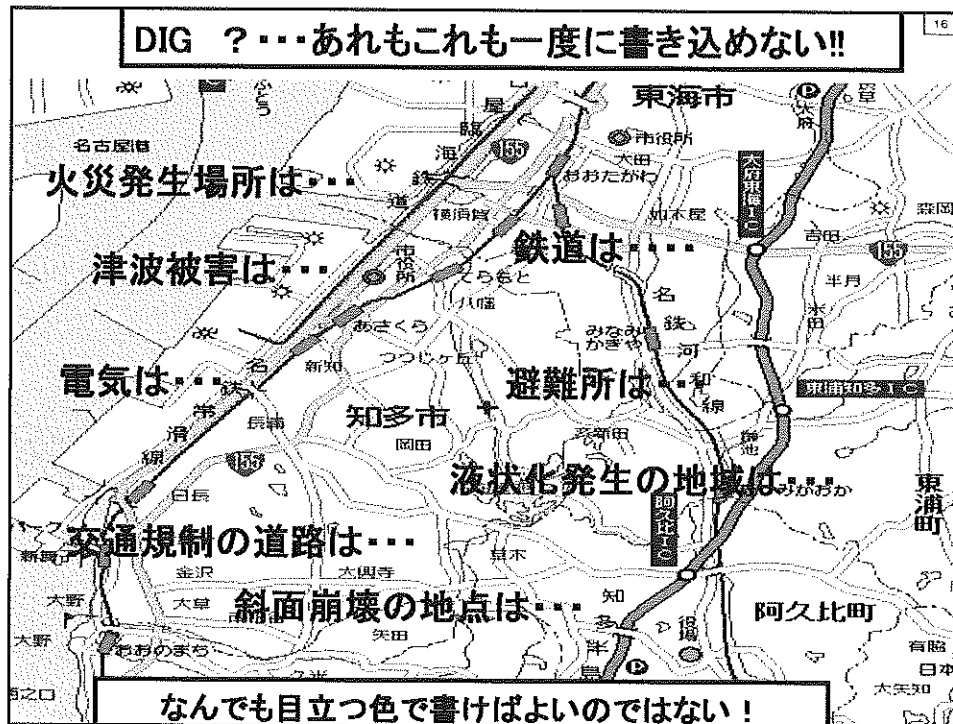
## DIG 作成のポイントは?

16

★役割分担を決め、お互いの創意工夫で地図を作成しましょう。  
(全員が参加者です。共通の理解と認識で進めましょう。)

★地図に描く線の色と太さや凡例など、種類や使い分けを工夫しましょう。

★地図に文字を書き込むのではなく、視覚に訴えかける形で表現しましょう。







さあ！ DIGをはじめましょう。

19

- それでは、今から知多市地域防災計画に基づく被害想定を読み上げます。
- 皆さんの共通の理解と認識の下で、被災地図を作ってみましょう。
- 最初から、上手に書ける人などいません。頭や口先だけでなく、全員が参加し、手を動かしましょう。
- 参加者全員の、創意工夫を表現しましょう。
  - … 地図が訴えかけてくるものとは！ …
  - …… DIGの醍醐味とは ……。

被災後に降りかかる困難



## 避難所の生活

21

避難所の開設 → 知多市の「地域防災計画」に基づき開設

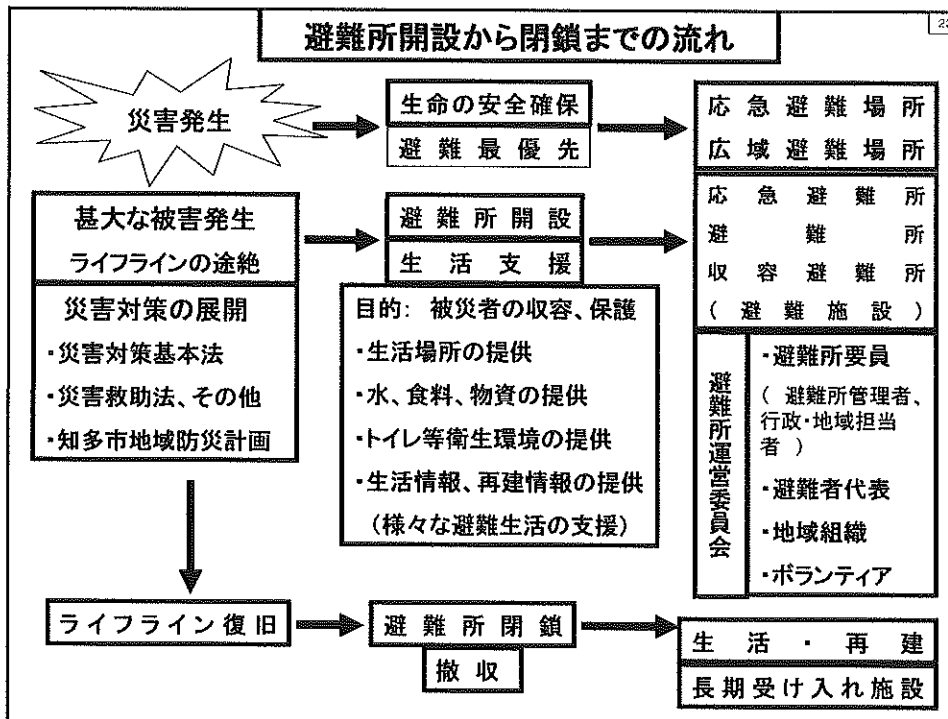
避難所の運営 → 避難地域住民等による運営委員会など

### ● 避難所における様々な問題(共通の理解と認識が必要)

- ① 居住場所…短期(一人1㎡(半畳)、長期3㎡(一畳半)、  
家族単位で…プライバシーの確保困難
- ② 生活…情報・物資・食料・配給・炊出し・防火・治安・秩序維持  
ごみ・風呂・トイレ・衛生管理・医療・介護・ペット・その他
- ③ 協力者の活用…ボランティアの受け入れ(コーディネートが必要)
- ④ 生活ルール…様々な問題(健常者・要援護者の対応)
- ⑤ 心のケア…専門家が不足(地域のお隣同士で、できることは?)  
( 話す、聴く、共感し、共有する…身近な人の力 )

## 避難所開設から閉鎖までの流れ

22



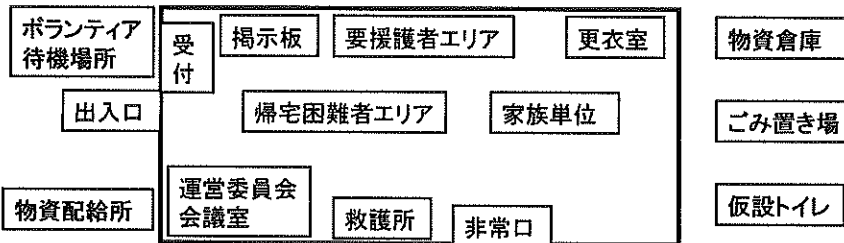
避難所運営要員の業務とは ・ DIG(図上演習)

23

避難所要員の業務 : 避難所運営管理の統括

- 1、指定避難所に向向、状況把握、避難民受け入れ準備、看板掲示。
- 2、避難者名簿の作成(様式5):災害時要援護者、帰宅困難者、世帯単位。
- 3、被害状況の報告。
- 4、避難所共通理解ルール。
- 5、被災者の取りまとめ、避難所運営委員会の立ち上げ。
- 6、食料ほか備蓄資器材の管理、配給、( 平等、公平の原則 )。

適切な避難所のレイアウトは?・・・グループで検討しましょう。



DIG (図上演習) ・ 避難所のレイアウト

24

避難所とは・・・災害時に緊急的に人が生活をするところ。  
 ☆ 想定される避難所の「レイアウト」をやって見ましょう。

避難所開設「DIG」演習

課題

災害直後を想定した避難所

- ☆ 災害が発生したことに対応して、中部中学校に避難所が開設された。
- ☆ 皆さんは、この会場の見取り図を作成し、避難所としてのレイアウトを班毎に討議し作成して、その結果を発表してください。
- 留意すべき事項 ……共通のスペース。  
 通路、受付、運営会議場所、スタッフ待機場所、配給所、資材置き場、救護所  
 介護スペース、授乳、おむつ換えスペース、更衣場所、など。
- 災害時要援護者(災害弱者)のエリア。
- 小児などの遊びのエリア。
- 家族単位の避難スペース割り振り。
- 帰宅困難者エリア。
- 衛生管理等、避難所の運営に必要な役割は、ボランティアコーディネーターは。
- その他、災害時の避難所に必要と思われること。

「女性の視点」から見た避難所での様々なことからは…

26

- ☆ 新潟中越地震で初めて内閣府女性職員を派遣した。
- ☆ 国の防災基本計画に「女性の参画」…自治体の地域防災計画の見直し
- ☆ 中越地震の反省…新潟県地域防災計画に「女性の視点」を盛り込む

避難所運営に女性の視点から見た配慮が必要

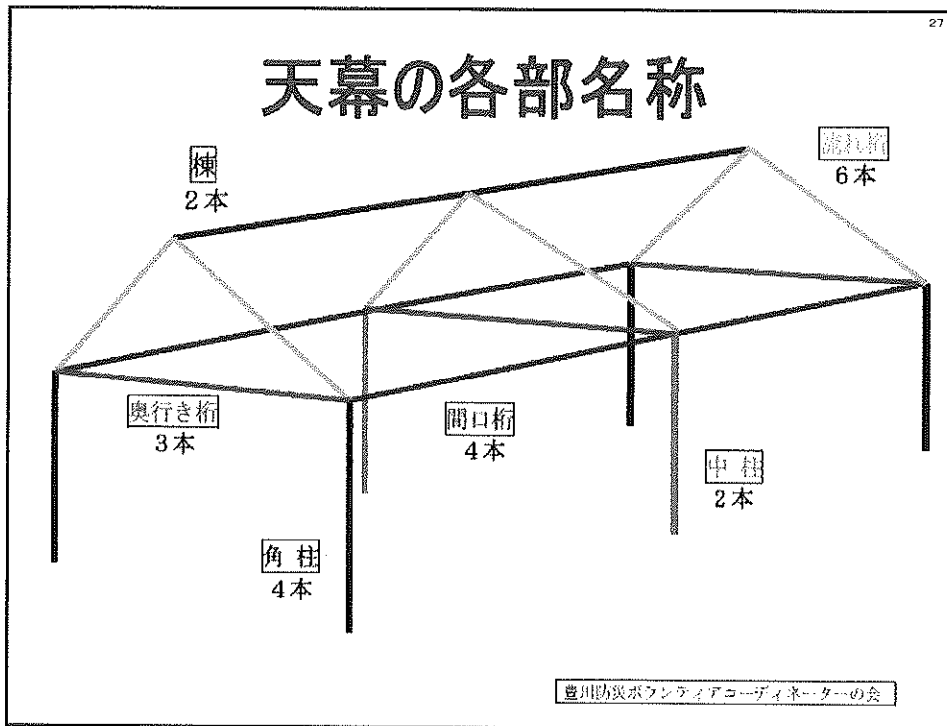
- ・避難所での女性の安全確保（夜間のトイレ、授乳、着替え、身繕い、など女性であり続けるための、女性特有のプライバシーに配慮を）
  - ・女性や子供たちを、性的暴力や性的虐待から、どのように守るか？
  - ・乳幼児や小児、病人、要援護者などを看取る場所を（保健師、看護師、保育士、介護士、生活相談員などのボランティアの確保）
  - ・炊き出しや避難所の衛生環境、女性に必要な物資に配慮を
  - ・出来るだけ部外者の侵入を防ぎ、避難所の秩序維持を（地元ボランティアや地区自主防災会、自警団などの連携で、避難民を守る）
- …日頃から「円滑な避難所運営」に備える…

「女性の視点」から見た様々なことからは…

26

☆ 災害現場で何が起きたか？

- ・平成7年1月17日の早期発生した：阪神淡路大震災：報道されなかったことは？
- ・現地の悲惨な状況、ボランティアの活躍、物資、復旧作業の陰に隠れた悲しいことは？
- ・要援護者（災害弱者）への対応（プライバシー、安全確保、人間の尊厳、など。）
- ・避難所では、トイレ、更衣場所、入浴、授乳、隣の男性との仕切り、他人の目、…。
- ・具体的な例として：災害後のレイプは避けられない！ 無法地帯？：安全確保・自警団
- ・性的被害による自殺、性的外傷とストレスによるPTSD（心的外傷後ストレス症候群）。
- ・被災者のみならず、女性ボランティアも被害に…。
- ☆ 1月末から3月末にレイプ相談が多発、4月からは妊娠中絶の相談に…。
- これらを踏まえて国の対応は
  - ・平成16年の新潟中越地震から内閣府が女性参事官を対策室に派遣し「女性の視点」から調査して対応した。今後の防災計画に、「女性の視点」を盛り込む。
  - ・被災者の女性のニーズ対応は、女性の担当者で実施。（男性では言い難い。）
  - ・女性の働く環境整備、育児、介護、家事、相談など、地域の方で女性の負担軽減を。
- ☆ 防災意識を高め地域の連帯と、多数の女性リーダーが必要！



28

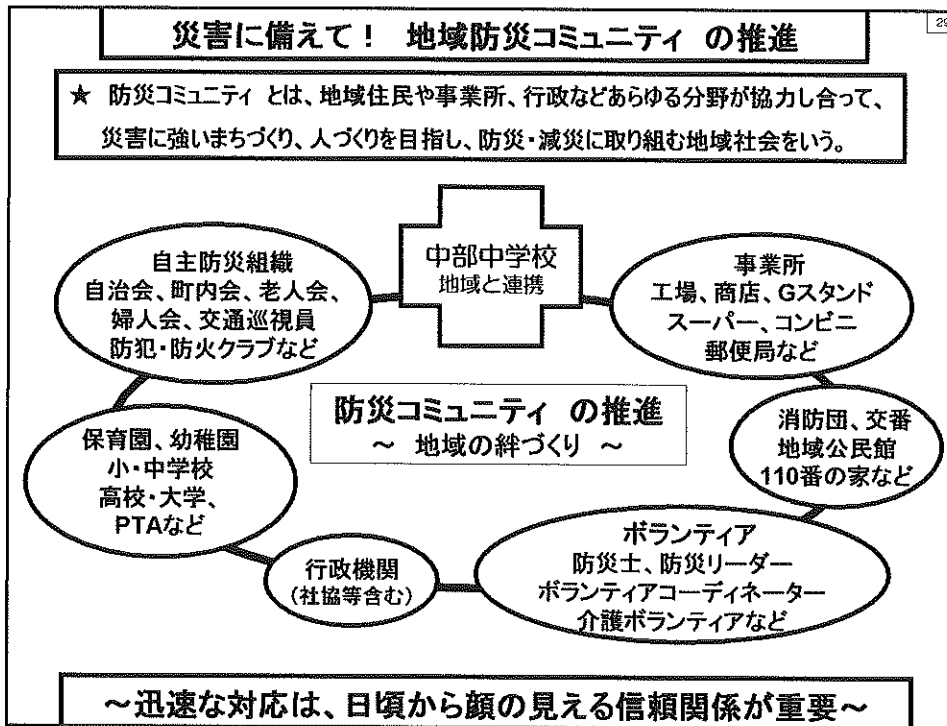
### 炊き出し：パッククッキングの応用

☆ 包装食（パッククッキング）の特徴

- 1、ひとつの鍋（ポットなども可）で、耐熱ポリエチレン袋を用いた調理により、いくつかのメニューが、同時に複数を調理できる。
- 2、食材の旨味を活かし、個人毎のアレルギー等を考慮した、個別調理が可能である。
- 3、作り置きや、配給が衛生的であり、運搬が可能である。
- 4、主食、副菜、汁物だけでなく、お菓子やおやつなど、様々な調理ができる。
- 5、温め直しが簡単にできる。（電子レンジOK）

☆ パッククッキングの調理手順。

- 1、食材の準備・・・メニューにあわせた食材、調味料などを準備する。
- 2、資器材の準備・・・耐熱ポリエチレン袋、コンロ、鍋、調理用具など。
- 3、食材を袋に入れて中の空気を十分に抜く。（袋の破裂を防ぐ）  
◎残留する空気は親指の爪の大きさ以下となるように注意する。
- 4、根菜類は水から煮始め、その他は沸いた湯に入れて調理する。
- 5、調理時間は食材により異なり、お湯の沸騰状態に注意する。
- 6、発泡する調味料（炭酸など）は、入ると破裂の危険があるので使用しない。



**3日目 ケーススタディ・学校と地域防災の連携**

知多市立中部中学校 = 知多市指定避難所

学校と地域防災			
登校下校時の対応		災害時	
学校	地域	学校	地域
先生は	登下校の見守り	避難所 先生も被災する！	運営要員 被災者

日頃から学校防災に関してほしいな...

避難所で何が出来るかな...

\* 今回は登下校に的を絞る！

- ☆B紙を横にして欄を作り、課題を出し合い討議し、箇条書きに纏め発表する。
- ☆付箋紙などを活用し、お互いに意見を出して対応策を考える。
- ☆進行役を決めて、全員の考え方を反映するように努める。
- ☆課題を共通理解し、認識を深めることが目的で、正解を出さなくて良い。

